

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和5年6月】

■調査概要（データ対象期間：令和5年6月1日～6月30日）

○調査期間：令和5年6月29日～令和5年7月24日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況：建設業20企業、製造業19企業、卸売業8企業、小売業22企業

飲食業12企業、サービス業37企業（運輸、不動産仲介業を含む）

<合計118企業>

○調査項目：6月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価

状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準と

して、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下

向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示す

ものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DIはプラスからマイナスへ転じた、水準DIはマイナス幅が拡大した

1. 業況判断

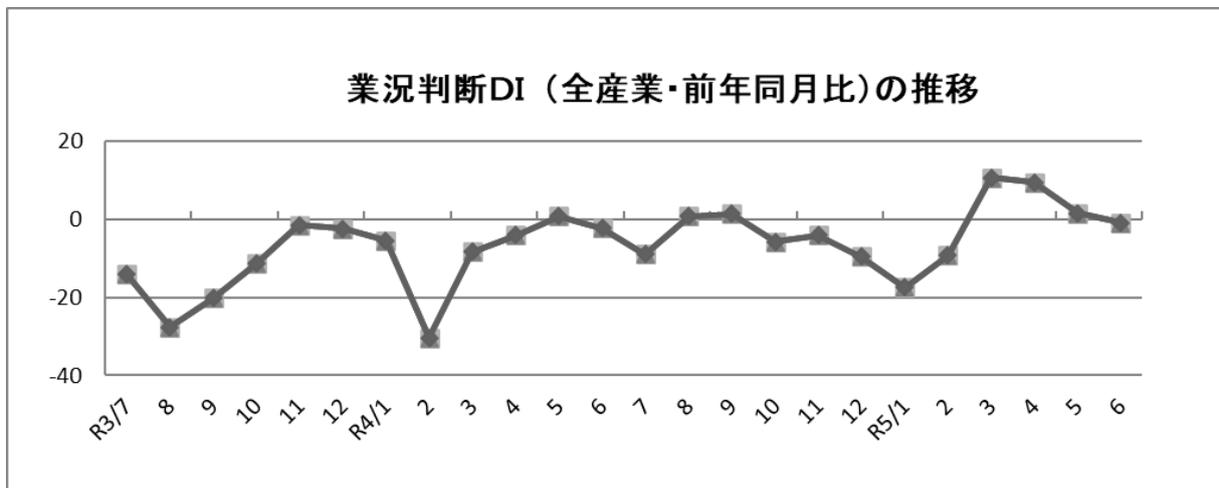
- 全産業合計の業況DI(前年同月比ベース)は、前月(1.6)より2.5ポイント下降し、▲0.9となった。業種別では、飲食業はプラス幅が縮小した。サービス業、小売業はプラスからマイナスに転じた。卸売業はマイナスからプラスへ転じた。建設業、製造業はマイナスから0になった。
- 全産業合計の水準DIは、前月(▲13.4)より0.1ポイント下降し、▲13.5になった。業種別では、小売業、飲食業がプラスからマイナスに転じた。卸売業はマイナスから0になった。製造業、建設業はマイナス幅が縮小した。サービス業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	18.6 (23.3)	61.9 (55.0)	19.5 (21.7)	▲0.9 (1.6)	13.6 (15.8)	59.3 (55.0)	27.1 (29.2)	▲13.5 (▲13.4)
建設業	5.0 (0.0)	90.0 (68.4)	5.0 (31.6)	0.0 (▲31.6)	10.0 (0.0)	75.0 (73.7)	15.0 (26.3)	▲5.0 (▲26.3)
製造業	31.6 (16.7)	36.8 (50.0)	31.6 (33.3)	0.0 (▲16.6)	21.1 (5.6)	52.6 (55.5)	26.3 (38.9)	▲5.2 (▲33.3)
卸売業	25.0 (20.0)	75.0 (40.0)	0.0 (40.0)	25.0 (▲20.0)	25.0 (20.0)	50.0 (30.0)	25.0 (50.0)	0.0 (▲30.0)
小売業	18.2 (34.8)	50.0 (56.5)	31.8 (8.7)	▲13.6 (26.1)	13.6 (26.1)	54.6 (52.2)	31.8 (21.7)	▲18.2 (4.4)
飲食業	33.3 (46.2)	50.0 (38.4)	16.7 (15.4)	16.6 (30.8)	16.7 (38.5)	41.6 (30.7)	41.7 (30.8)	▲25.0 (7.7)
サービス業	13.5 (24.3)	67.6 (59.5)	18.9 (16.2)	▲5.4 (8.1)	8.1 (13.5)	64.9 (62.2)	27.0 (24.3)	▲18.9 (▲10.8)

()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」…前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」…事業主の方の主観による回答の集計

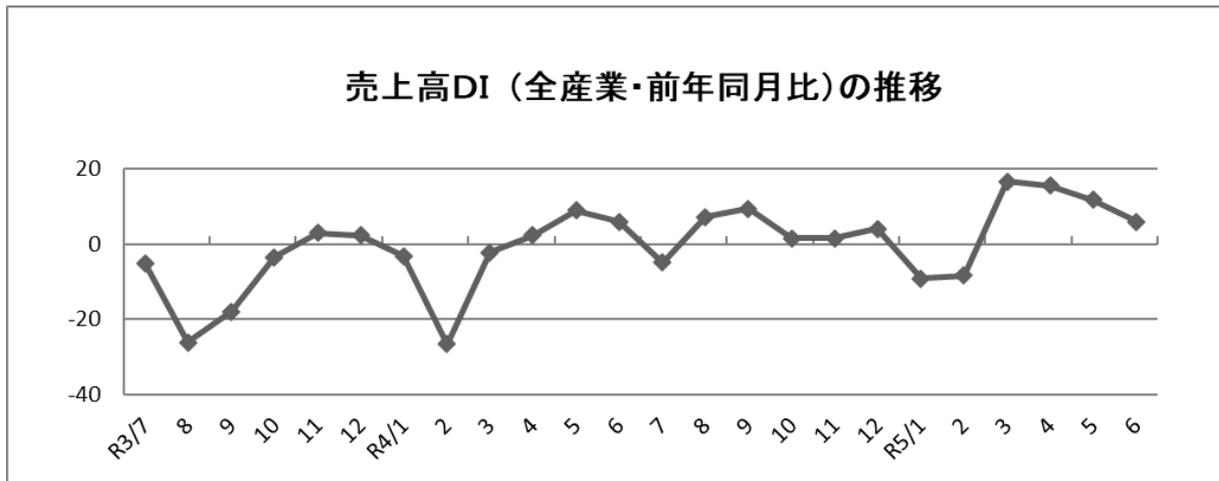


2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月(11.7)より5.7ポイント下降して、6.0となった。業種別に見ると、製造業はプラス幅が拡大し、飲食業はプラス幅が縮小した。サービス業はプラスから0になり、小売業はプラスからマイナスへ転じた。卸売業は0からプラスになり、建設業はマイナスから0になった。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	R5年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月
全体	6.0	▲4.9	7.2	9.4	1.6	1.6	4.0	▲9.2	▲8.4	16.6	15.5	11.7	6.0
建設業	▲21.0	▲36.8	▲10.5	▲10.5	▲20.0	5.0	▲25.0	▲15.8	▲27.7	▲10.6	▲29.4	▲31.5	0.0
製造業	5.5	▲12.5	5.9	15.8	0.0	▲5	11.1	▲5.5	▲11.7	5.0	30.0	5.5	26.3
卸売業	25.0	0.0	33	58.3	9.1	27.3	16.7	22.2	0.0	33	▲12.5	0.0	13
小売業	▲3.9	0.0	▲10	4.2	4.8	4.8	4.2	▲39.2	▲13.6	39.2	4.8	30.4	▲4.5
飲食業	11.8	5.9	33.4	20.0	30.8	▲6.6	7.2	23.1	▲23.1	33.4	25.0	53.8	16.7
サービス業	17.0	4.8	7.5	0.0	0.0	▲3	10.5	▲7.9	8.3	15.0	36.9	13.5	0.0

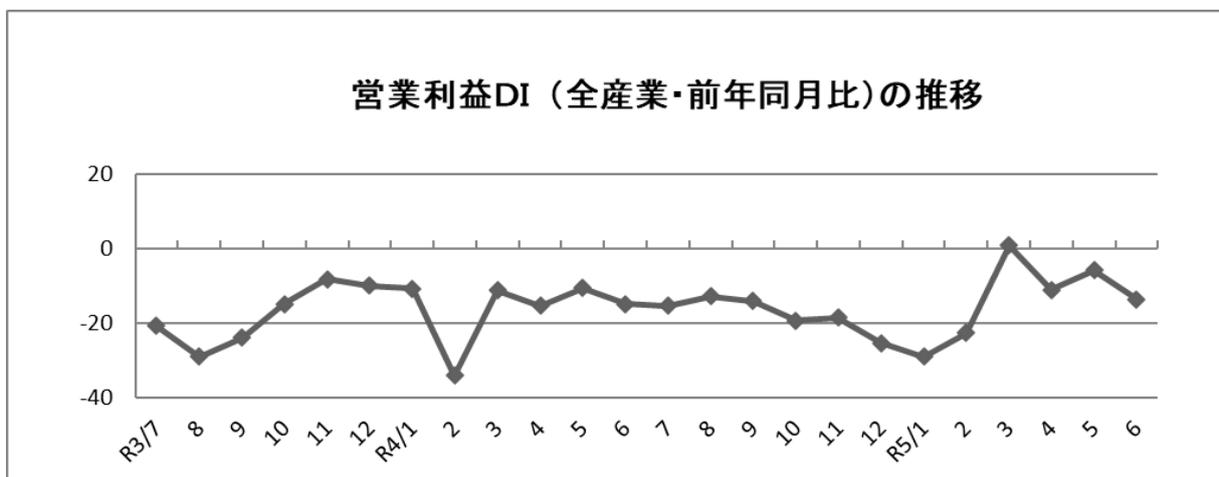


3. 営業利益DI（前年同月比）

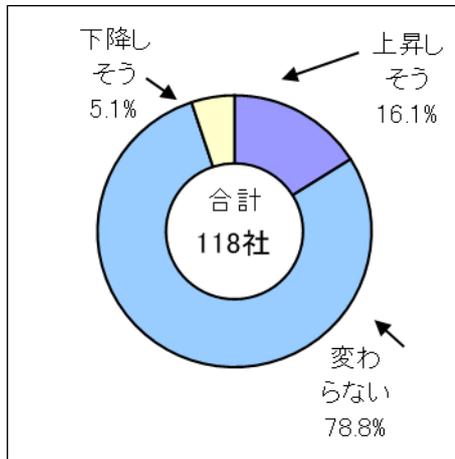
○全産業合計の営業利益DIは、前月(▲5.9)より7.7ポイント下降して、▲13.6となった。サービス業、小売業がプラスからマイナスへ転じた。飲食業は0からマイナスになり、卸売業はマイナスから0になった。建設業、製造業はマイナス幅が縮小した。

【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	R4年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月
全体	▲15.0	▲15.4	▲12.9	▲14.1	▲19.4	▲18.5	▲25.4	▲29.1	▲22.7	0.8	▲11.2	▲5.9	▲13.6
建設業	▲36.8	▲31.6	▲21.0	▲26.3	▲15.0	▲10.0	▲45.0	▲21.1	▲33.3	▲15.8	▲35.3	▲36.8	▲20.0
製造業	▲27.8	▲25.0	▲23.6	▲36.8	▲36.9	▲35.0	▲61.1	▲50.0	▲35.3	▲10.0	▲10.0	▲16.7	▲15.8
卸売業	▲8.3	▲9.1	25.0	25.0	▲18.2	▲18.2	▲25.0	▲11.1	▲23.1	11.1	▲25.0	▲40.0	0.0
小売業	▲23.1	▲27.8	▲42.9	▲4.2	▲28.6	▲9.6	▲12.5	▲52.2	▲13.7	17.4	▲23.8	26.1	▲18.2
飲食業	▲11.8	▲11.8	▲13.3	▲33.3	▲30.8	▲26.7	▲28.6	▲30.8	▲38.4	▲22.2	▲16.7	0.0	▲17
サービス業	2.4	▲2.4	0.0	▲8	▲5.0	▲16.2	▲5.2	▲13.2	▲11.1	7.5	10.5	2.7	▲8.1



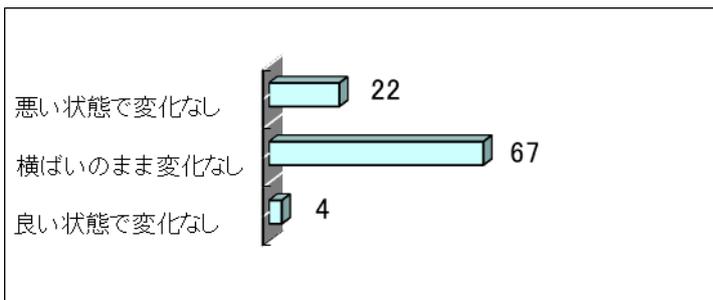
◇ 向こう3カ月の見通し ◇



○令和5年7月～令和5年9月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ2.8ポイント増え16.1%、「下降しそう」が1.6ポイント減り5.1%となった。業種別の見通しDIは建設業(5.0)、製造業(▲15.8)、卸売業(0.0)、小売業(13.7)、飲食業(25.0)、サービス業(24.3)であった。

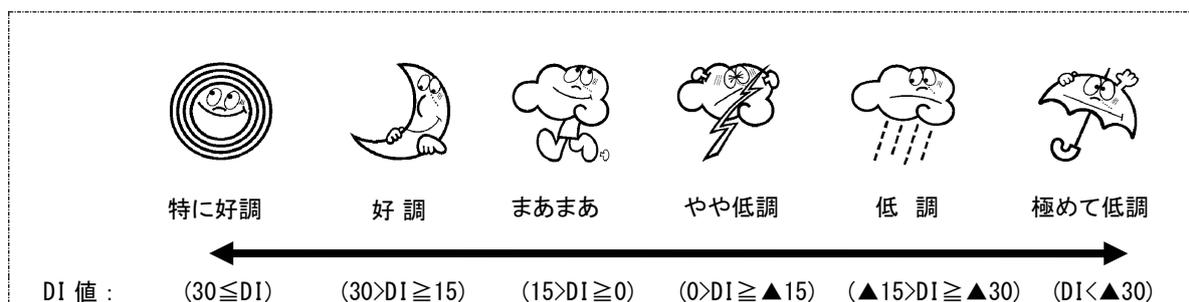
➡「上昇しそう」では「新年度工事が発注されるため」(建設業)「直近で新商品を販売しているため」(製造業)「旅行や観光が復活の見通しであるため」(卸売業)「夏休みシーズンで観光客の動きが良くなりそうのため」(小売業)「夏休みの旅行などイベント参加のお客が増えたと実感しているため」(小売業)「夏季の観光需要に期待できるため」(飲食業)「宴会の予約が少しずつ増えているため」(飲食業)「ようやく世間がまわりだしたと感ずるため」(飲食業)「複数のプロジェクトについて受注済みであるため」(サービス業)「予約状況が良いため」(サービス業)「観光シーズン到来のため」(サービス業)「繁忙期になるため」(サービス業)「日本人観光客に加えインバウンドも好調のため」(サービス業)「都会も田舎も活気を感じるため」(サービス業)「職業訓練受講者数の増加傾向が続いているため」(サービス業)といった声が寄せられていた。

➡「下降しそう」では「夏は閑散期であるため」(製造業)「受注状況・受注見込みの低迷のため」(製造業)「6月が好調であったため」(製造業)といった声が寄せられた。

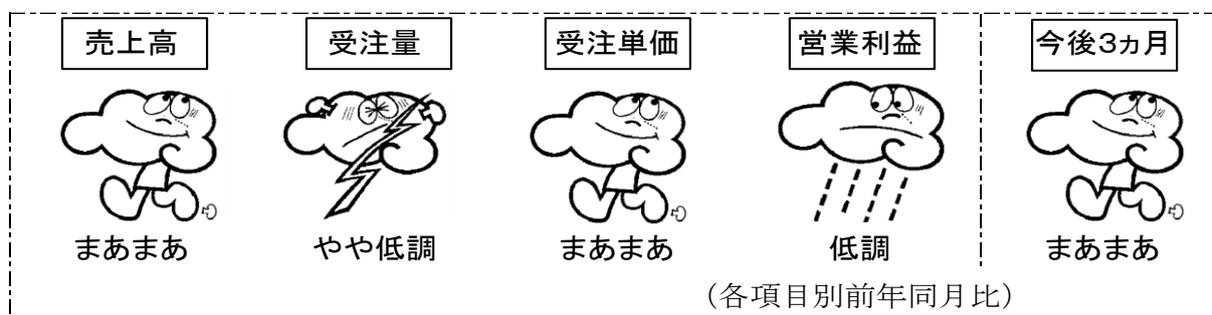


業種別景況

<D | 君の景況判断>



1. 建設業



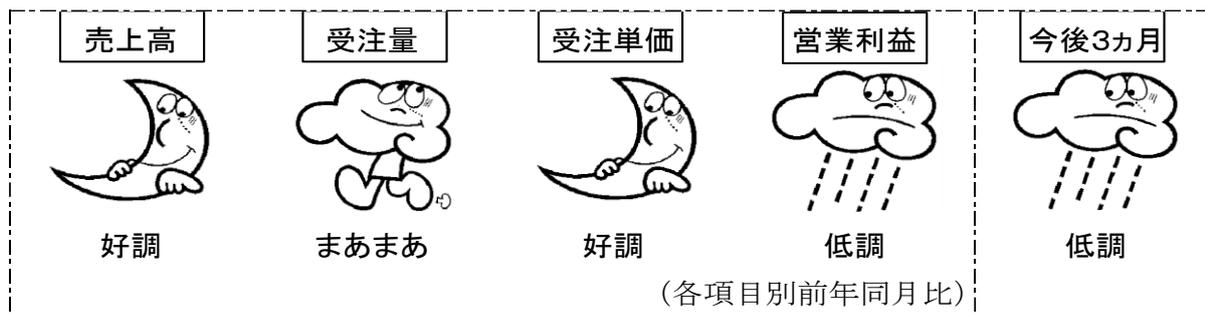
【項目別DIの推移】

	R4年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	▲ 21.0	▲ 36.8	▲ 10.5	▲ 10.5	▲ 20.0	5.0	▲ 25.0	▲ 15.8	▲ 27.7	▲ 10.6	▲ 29.4	▲ 31.5	0.0
受注量	▲ 15.8	▲ 31.6	▲ 5.3	▲ 15.8	10.0	0.0	▲ 30.0	▲ 21.0	▲ 27.8	▲ 21.0	▲ 23.5	▲ 21.1	▲ 15.0
受注単価	5.3	▲ 10.5	▲ 5.3	▲ 5.2	▲ 15.0	0.0	▲ 5.0	▲ 5.3	▲ 16.7	▲ 5.2	0.0	▲ 10.5	0.0
営業利益	▲ 36.8	▲ 31.6	▲ 21.0	▲ 26.3	▲ 15.0	▲ 10.0	▲ 45.0	▲ 21.1	▲ 33.3	▲ 15.8	▲ 35.3	▲ 36.8	▲ 20.0
見通し	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 10.0	▲ 5.0	▲ 5.2	▲ 5.5	0.0	5.9	5.3	5.0

<経営者の目・見方・e t c >

- 土木工事
 - ・物価上昇、国の税収は過去最高、賃金は変わらず。消費税減税が必要である。
- 鉄工
 - ・業界関連の総会はほぼ終了した。原材料、電気料金は高値で推移しているため価格転嫁の難しい事業所も見受けられる。
 - ・低調に推移している。
- 電気工事
 - ・官公庁案件が出てきている。新型コロナウイルス感染症が収束したわけではないが、このまま案件が数多く出て皆が潤ってくれればと感じる。

2. 製造業



【項目別DIの推移】

	R4年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	5.5	▲12.5	5.9	15.8	0.0	▲5.0	11.1	▲5.5	▲11.7	5.0	30.0	5.5	26.3
受注量	11.1	▲25.0	▲11.7	15.8	▲15.8	▲5.0	▲16.6	▲27.8	▲11.7	▲5.0	5.0	5.6	5.3
受注単価	16.7	6.2	11.7	15.8	21.1	20.0	11.1	16.6	23.5	10.0	25.0	16.6	21.0
営業利益	▲27.8	▲25.0	▲23.6	▲36.8	▲36.9	▲35.0	▲61.1	▲50.0	▲35.3	▲10.0	▲10.0	▲16.7	▲15.8
見通し	5.5	▲12.5	5.8	0.0	0.0	▲5.0	▲27.7	22.2	0.0	▲25.0	▲15.0	5.5	▲15.8

<経営者の目・見方・e t c>

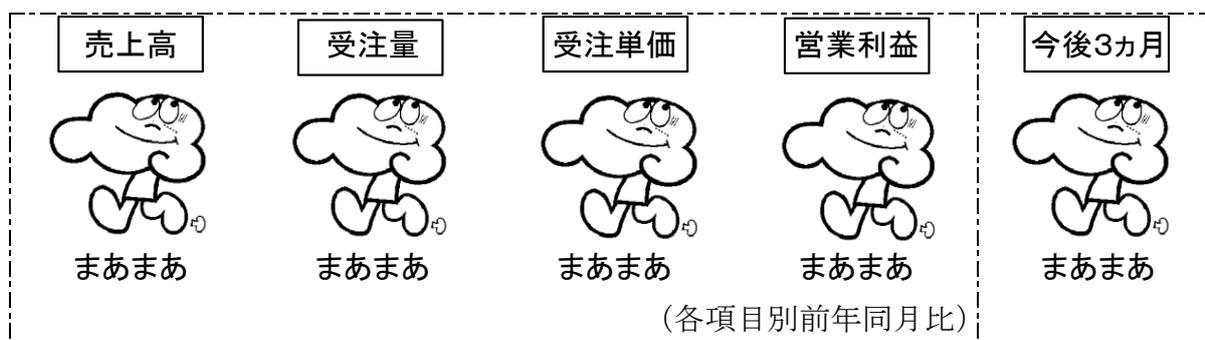
精密機器組立

金属塗装

印刷

- ・4月、5月と足踏み状態であったが少し動きが出てきた。
- ・売上は伸びたが原材料、燃料費等の経費がかさみ採算は悪化している。まだ売値にコスト分を転嫁しきれていない。
- ・価格転嫁拒否案件があった。ページ増、なおかつ現時点での物資高騰の影響では、前年通りの予算では難しい。

3. 卸売業



【項目別DIの推移】

	R4年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	25.0	0.0	33.4	58.3	9.1	27.3	16.7	22.2	0.0	33.3	▲12.5	0.0	12.5
販売客数	16.7	▲27.3	16.7	25.0	9.1	▲9.1	0.0	0.0	▲7.7	11.1	▲25.0	▲10.0	12.5
販売客単価	41.7	9.1	41.7	50.0	36.4	18.2	8.4	22.2	0.0	33.3	0.0	10.0	12.5
営業利益	▲8.3	▲9.1	25.0	25.0	▲18.2	▲18.2	▲25.0	▲11.1	▲23.1	11.1	▲25.0	▲40.0	0.0
見通し	8.4	▲18.2	▲16.7	0.0	▲18.2	▲18.2	▲16.7	0.0	▲7.7	0.0	12.5	▲10.0	0.0

<経営者の目・見方・e t c>

土産品

- ・先月同様好調に推移しているが、地域により旅行支援が終了して今後注視していきたい。新製品の開発を活発に進めていて、社員の意気込みを感じるようになり、完全にコロナ禍前に戻ったと思う。

・建築関連は依然大型案件の話はあるが、中小案件は少ない状況が続いている。職人不足や運送関係がこれからの課題である。半導体や自動車の回復を期待する一方、足元流通の動きは芳しくない。

4. 小売業



【項目別DIの推移】

	R4年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	▲ 3.9	0.0	▲ 9.5	4.2	4.8	4.8	4.2	▲ 39.2	▲ 13.6	39.2	4.8	30.4	▲ 4.5
販売客数	▲ 15.4	▲ 33.3	▲ 9.6	4.1	0.0	▲ 4.8	▲ 4.1	▲ 39.1	0.0	4.4	▲ 9.5	17.4	▲ 9.1
販売客単価	▲ 11.5	▲ 11.1	4.8	0.0	▲ 4.8	0.0	12.5	▲ 26.1	13.6	0.0	▲ 19.1	26.1	9.1
営業利益	▲ 23.1	▲ 27.8	▲ 42.9	▲ 4.2	▲ 28.6	▲ 9.6	▲ 12.5	▲ 52.2	▲ 13.7	17.4	▲ 23.8	26.1	▲ 18.2
見通し	▲ 11.5	▲ 27.7	▲ 9.5	▲ 4.2	▲ 4.7	9.5	▲ 16.6	▲ 8.7	0.0	17.4	▲ 4.8	0.0	13.7

<経営者の目・見方・etc>

洋菓子店

- ・気温の上昇により売上は前年の6月と同じである。新型コロナウイルス感染症が治まれば先が明るい。
- ・人の流れが増えているせいか、ギフト需要が高くなっている。まだ直接影響はないが、周囲に新型コロナウイルス感染者が増えている。体調管理に注意したい。

生鮮食品

- ・6月といえば父の日があり毎年準備をしているが、今年の父の日は外に食事に出掛けたのか、コロナ禍が明けたのか少し落ち着いていた。

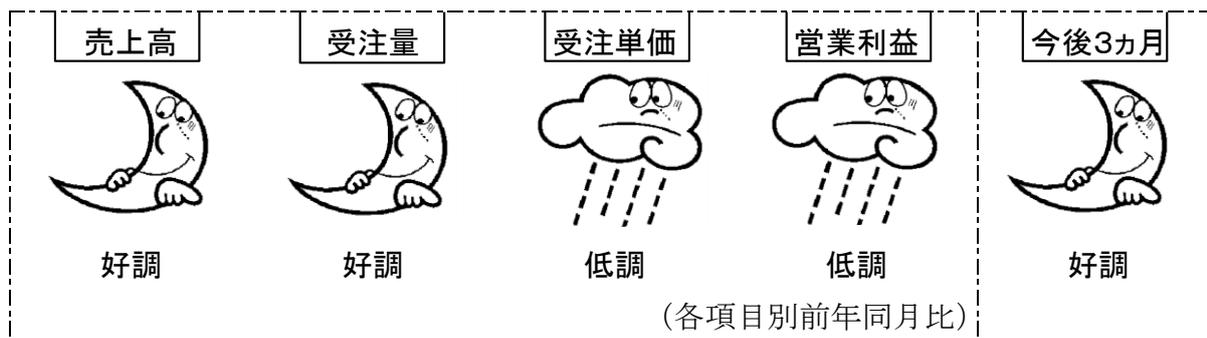
印章

- ・テレビ番組で紹介された飲食店には行列が出来ている。それが目的でも良いから松本に旅行者が増えるのは有難いことだと思う。復活した花時計公園の飲食イベントにお客様が大勢来ているのを見て、元に戻る日は近いと思う。

印章・刃物研ぎ

- ・海外のお客様の動きが鈍くなったせいか商売に活気がなくなった。

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	R4年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	11.8	5.9	33.4	20.0	30.8	▲ 6.6	7.2	23.1	▲ 23.1	33.4	25.0	53.8	16.7
販売客数	11.8	11.8	20.0	13.3	23.1	0.0	▲ 7.1	23.1	▲ 23.1	55.6	25.0	38.4	25.0
販売客単価	▲ 5.9	▲ 11.7	6.7	▲ 6.7	7.7	13.3	▲ 28.6	7.7	▲ 15.4	0.0	0.0	▲ 7.7	▲ 16.7
営業利益	▲ 11.8	▲ 11.8	▲ 13.3	▲ 33.3	▲ 30.8	▲ 26.7	▲ 28.6	▲ 30.8	▲ 38.4	▲ 22.2	▲ 16.7	0.0	▲ 16.6
見通し	11.8	▲ 11.8	▲ 20.0	6.7	▲ 7.7	13.3	0.0	0.0	30.8	33.3	25.0	23.1	25.0

<経営者の目・見方・etc>

寿司

- ・梅雨時の6月は例年通り観光需要含めて低調な月ではあるが、過去の6月と比べてみるとコロナ禍前以上の集客がある場所や業態も多くなってきており、環境によっては当然にコロナ禍前を超える来客が期待できる店舗もある。コスト上昇、人手不足など大きな課題もあるが、未だ変化しつつあるお客様動向に沿った営業を心掛けたい。

食堂

- ・コロナ禍中はあまり気にならなかった国体道路の渋滞が目立つようになった。外出する人がかなり増えた表れである。コロナ禍以前に戻ってきたことを感じる。世間が動き出せば景気も良くなる。

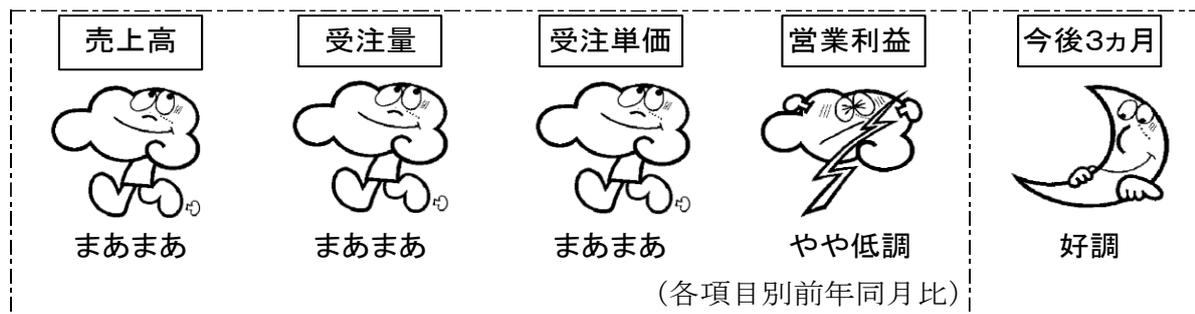
料理

- ・コロナ禍前に戻りつつあるように思われるが、物価上昇等によりお客様も外食を控えているようだ。昼の会食予約も増えているが夜は静かだ。
- ・今月から価格を値上げした。

郷土料理

- ・5月にお金を使い過ぎたのか、財布の紐は固く客の移動はなかった月だった。
- ・客数は昨年に比べて増えている。外国人客も来店するようになった。売上は増えたが人件費が増えて利益は上がっていない。

6. サービス業



【項目別DIの推移】

	R4年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	17.0	4.8	7.5	0.0	0.0	▲2.7	10.5	▲7.9	8.3	15.0	36.9	13.5	0.0
販売客数	7.4	2.4	7.5	▲2.6	7.5	5.4	▲5.2	▲7.9	8.3	2.5	28.9	8.1	0.0
販売客単価	7.3	▲2.4	2.5	5.1	7.5	10.8	5.2	13.2	11.1	10.0	23.7	10.8	5.4
営業利益	2.4	▲2.4	0.0	▲7.7	▲5.0	▲16.2	▲5.2	▲13.2	▲11.1	7.5	10.5	2.7	▲8.1
見通し	4.9	7.1	15.0	5.1	2.5	▲5.4	▲5.2	▲5.3	8.3	2.5	15.8	10.8	24.3

<経営者の目・見方・e t c>

観光旅館	<ul style="list-style-type: none"> ・梅雨に入り度々の豪雨により通行止めになったりはしたが、大きな災害にはならず、入込もインバウンドを中心に順調であった。相変わらずスタッフの不足により外来の営業ができず残念である。徐々に新型コロナウイルス感染者が増えてきて夏に向けて心配である。
温泉旅館	<ul style="list-style-type: none"> ・信州割SPECIALの駆け込み需要のため概ね好調である。7月以降の補助金が終わってからも予約状況からみるに特に心配はない。懸念材料は人手不足である。予約を制限している。
旅館	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行支援の割り当ても終わり、客足が鈍ってきた。7月、8月の予約状況はやや良好であるが、長く続いた旅行支援の影響で、旅行支援がなければ旅に出ないとならなければ良いと思う。 ・台風の影響が大きい。キャンセルが多かった。
ホテル	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中、または直前に開業したホテルが多くあり、それぞれのホテルの客数が2019年の状態に戻るか心配している。
宿泊	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行需要に加えてインバウンドの増加と忙しくなる中、労働力の確保が今後の課題である。
タクシー	<ul style="list-style-type: none"> ・客単価は下がったが客数が増えて売上は前年より良かった。外国人の観光客も多く見られるようになった。
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> ・都心に本社を持つ企業の関連子会社として、県内IT企業でも全国規模のシステム案件を獲得する動きが見られる。WEB会議や各種のリモートツールを駆使し、以前よりもスピード感がある。県内中小規模のメーカーも、自社システムの見直しに着手する雰囲気も見えてきた。
自動車整備・板金塗装	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事量は昨年度並みにあるが、ガソリン価格は上がり、ユーザーの車の使用も控え気味になっているのではないかと。新型コロナウイルス感染症も落ち着き、人出に期待もあるが、なかなか楽観できる状態ではない。
ペットサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットホテルの利用が多かった。
機械設計	<ul style="list-style-type: none"> ・今月も前月と変わらず横ばいで、このまま続きそうである。まだ入手に時間のかかる部品がある。

